

キャラクター名
ヴィレット=ハイ=オーテ

・ プレイヤー名 _____

シンドローム	プラム=ストーカー	ワークス	暗殺者		カヴァー	高校生
	エンジェルハイロウ		年齢			17
オプショナル		年齢		性別		女
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率		35
出自	姉妹	経験	殺生	邂逅		ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	14
感覚	5	1	0			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覺			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		R C			交渉		
回避			知覚			意志	3		調達		
運転：二輪	2		芸術：			知識：	2		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き猟銃		0				使用時HP-3点 Lv×3+4 射程20m
狩猟開始		0		25		赫き猟銃+破壊の血+陽炎の衣 HP-3
不可視の弾丸	射撃	7r+1		25		見える死神+ガラスの剣+コンセントレイト HP-3 短りアクションダイス
再生		0				リミテッドイモータル Lv×2回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品

最大財産P: 2 残り財産P:

彼女は生まれながらに力を持つていた。
自覚したのは中学生ほどの時だったどうろか、明らかに他人とは違う自分の力に疎外感を覚えるようになった。
そんなある日、UGNの人間と出会いオーヴァードの存在を知る。

UGNという組織そのものに入る気はなかったが、世の平和のために力を貸してほしいと熟考された。その話の中で、具体的なオーバードの力や、自身がオーバードの中でも相當な才能を秘めていることを教えられた。しかし、彼女は自分の中にある衝動と照らし合わせ、その才能が『殺しの才能』であることをハッキリと理解した。

中学校を卒業する頃、それらしい理由をつけて遠い高校を選び一人暮らしすることを望んだ。両親も本当は力のことを知っていて恐れていたのか、彼女の話を信じて将来を想ってくれたのか、さだかではないが揉めることなく一人暮らしすることが決まった。

充分な仕送りがあり、不自由な生活を送れるはずの彼女だったが日に日に増していく殺戮衝動に苛まれていくことになる。鬱屈とした日々を過ごしていると、UGNから依頼が届いた。

UGNでなくとも協力関係になるイリーガルという存在があることを知らせる旨と、あるジャームへの対処に協力してほしいという内容だった。

日に日に増していく衝動に精神が摩耗していく、おそらく正常な判断ができていなかった。
「力を振るう機会があればこの衝動も薄れるのでは？」
依頼を受けてしまった。

当日、訓練を受けていない彼女はネゲイドビーイングの雑兵と戦うことになっていたが、当然ながら本気の戦闘についていけていなかった。なんとか掃討し、ジャームの前へとどり着いた。